



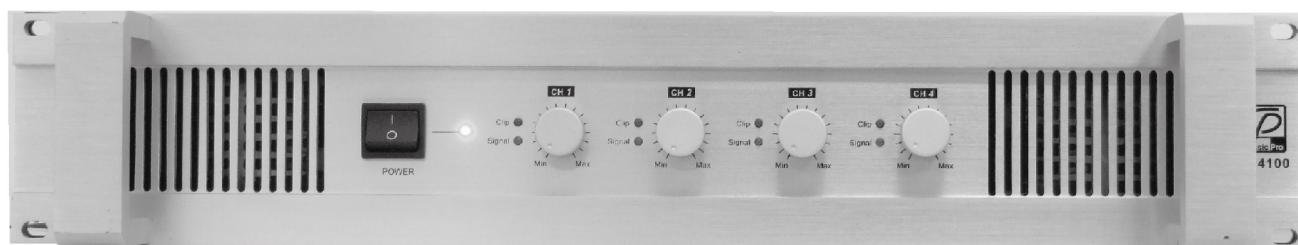
CP

PROFESSIONAL POWER AMPLIFIERS

CP4100 / CP4200

USER'S MANUAL

日本語版



株式会社 サウンドハウス

〒286-0044 千葉県成田市不動ヶ岡1958

TEL:0476(22)9333 FAX:0476(22)9334

<http://www.soundhouse.co.jp> shop@soundhouse.co.jp

はじめに

この度は、CLASSIC PRO CP4100/4200 4ch パワーアンプをお買い上げ頂き、誠に有難うございます。パワーアンプの性能をフルに発揮させ、末永くお使い頂く為に、ご使用になる前にこの取扱説明書を必ずお読みください。尚、本書が保証書となりますので、お読みになった後は大切に保管してください。

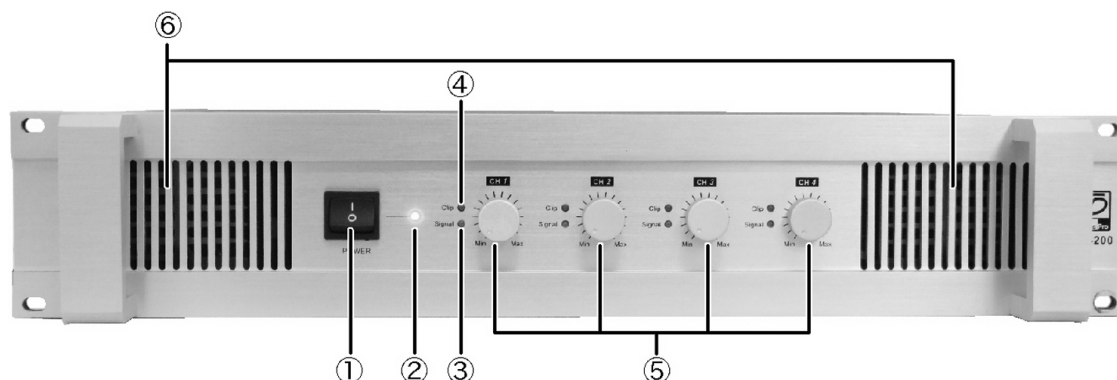
ご使用前に

1. この取扱説明書に従って操作してください。
2. 水には大変弱いので、雨などがかからないよう十分ご注意ください。
3. 内部には精密な電子部品が多数使用されています。移動及び輸送時には大きな衝撃が加わらないようにしてください。
4. 本機の設置場所は直射日光の当たる場所やストーブの直前など、高温になりやすい場所を避け、なるべく通気性の良い場所で御使用ください。
5. 定格電圧 AC100V, 50/60Hz で御使用ください。
6. 電源コードは機材への挟みこみ等、無理な力が加わらない様御注意ください。
7. 信号の入出力端子に許容範囲を越える異常電圧が加わらない様にしてください。

故障や感電事故を防止すると共に、本来の性能を維持する為にも、本体を開けて触れたりしないでください。修理が必要な時には、販売店もしくは輸入代理店までお問い合わせください。

注意：最適なパフォーマンスと信頼性を維持する為に、4ch モード時、各チャンネルの最小負荷が 2Ω 以上になるようにしてください。

フロントパネル



1. 電源スイッチ

本体の電源を ON/OFF します。ON/OFF の際はゲインコントロールを最小限まで下げてから電源を入れてください。機材の電源を入れる順番は楽器、次にミキサー、他の機器に問題なくすべての電源が入っていることを確認してから最後にアンプの電源を入れてください。

2. パワー・インジケータ

アンプの電源が入ると、この LED が点灯し、本ユニットへの電源が供給されていることを示します。

3. チャンネル 1~4 シグナル・インジケータ

音声信号の入力がある時に緑色の LED が点灯します。

4. チャンネル 1~4 クリップ・インジケータ

最大出力値を越えて、スピーカーに信号を送る場合に点灯します。この LED が常時点灯する場合は、アンプとスピーカーにダメージを与えてしまうことがあります。また、クリップ・プロテクション機能により、自動的にリミッターがかかります。その場合、出力が抑えられ、クリップ信号を送ることができなくなります。アンプの出力を最大にする場合は、クリップの赤色の LED が点灯しないようにしてください。

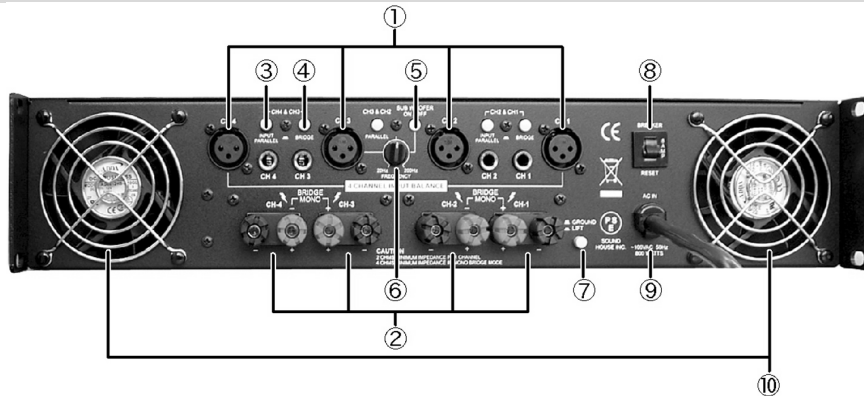
5. チャンネル 1~4 ゲイン・コントロール

チャンネル 1~4 のスピーカーへの出力信号を調節します。

6. 冷却用通気口

冷却用のファンがアンプのリア側に装着されています。この通気口より内部の熱を押し出し、アンプ内部の加熱を防ぎます。

リア・パネル



1. チャンネル 1～4 入力

XLR と TRS フォン・プラグを接続できる音声信号の入力端子です。TRS フォン端子はアンバランスフォンのプラグも使用可能です。また、それぞれの端子は並列接続になっており、片方を入力、もう片方をライン出力用の端子として使用可能です。

TRS フォンプラグ設定：TIP/プラス、RING/マイナス、SLEEVE/アース

XLR 端子設定：PIN3/マイナス、PIN2/プラス、PIN1/アース

2. チャンネル 1～4 出力

チャンネル 1～4 出力端子に各スピーカーを接続します。

3. パラレル入力スイッチ

パラレルモードではチャンネル 1 と 2、もしくは 2 と 3、3 と 4 の入力信号が、パワーアンプのチャンネル 1～4 へ送られます。この場合、チャンネル 1～4 の入力端子に自動的に信号が送られます。切替えは必ず電源が OFF の状態にて行ってください。

4. モノラル・ブリッジモード

このスイッチで 1/2 チャンネルと 3/4 チャンネルのステレオとモノラル・ブリッジモードの切替えを行います。アンプが出荷されたときは 1/2 チャンネルと 3/4 チャンネルそれぞれがステレオモードになっており、4ch 駆動が可能です。切替えは必ず電源が OFF の状態にて行ってください。

5. チャンネル 3 サブウーハー・モード ON/OFF スイッチ

チャンネル 3 のサブウーハー・モードの ON/OFF 切替えを行います。ON にする事により、チャンネル 3 の出力をサブウーハー用として使用することができます。

6. チャンネル 3 周波数設定コントロール

チャンネル 3 をサブウーハー・モードで使用する場合、このツマミでチャンネル 3 に接続されているスピーカーに出力される周波数を設定することができます。

7. グラウンド・リフトスイッチ

このスイッチで、内部のアース信号を本体のアースから切断することができます。使用環境によりノイズが多い場合など、このスイッチを切替えます。

8. ブレーカー

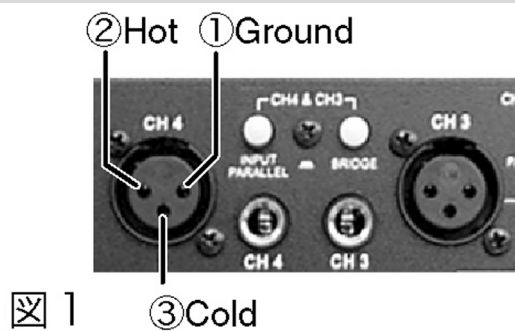
このブレーカーはショートや過電圧からの保護回路です。リセットするにはスイッチを押し上げます。

9. A/C 電源コード

この電源を 100V 電源コンセントに挿入してください。

10. 冷却ファン

2 基の冷却ファンです。前面の吸気口をふさいだり、密閉されたラックにマウントしないでください。アンプのオーバーヒート、故障の原因になります。



1. XLR 入力端子 (図 1)

音声信号の入力端子です。XLR 端子はバランス仕様対応です。PIN の仕様は上記の図を参照ください。

2. TRS フォン入力端子

TRS フォン・プラグを接続できる音声信号の入力端子です。TRS フォン端子はアンバランスフォン・プラグも使用可能です。

出力

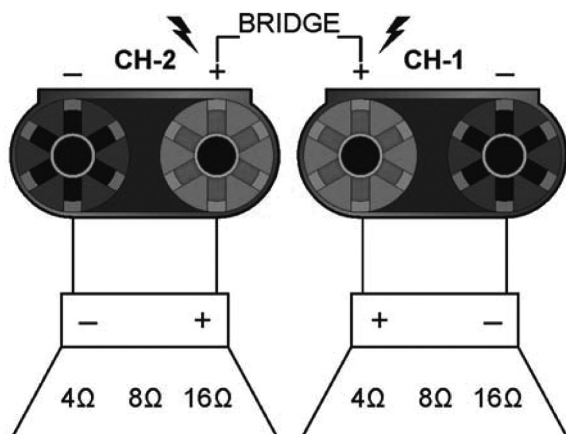
1. バインディングポスト/バナナプラグ

5WAY バインディング・ポスト/バナナプラグ：アンプ背面にあるバインディング・ポスト出力端子に、スピーカーケーブルを接続します。スピーカーケーブルのマイナス・リードをアンプのバインディング・ポスト黒端子に、プラス・リードを赤端子に接続するようにしてください。正しい極性設定はスピーカーの位相の不一致を防ぎ、結果として低音が損なわれることを防止します。

接続には以下の2つの方法があります。

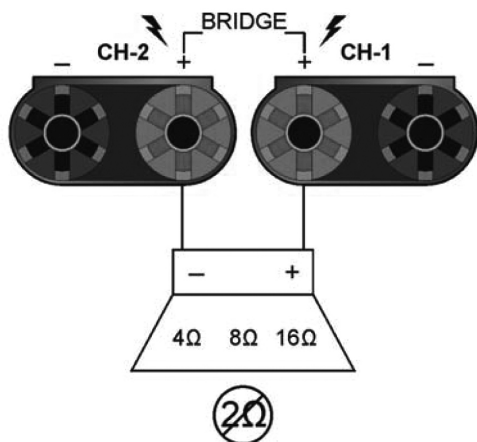
ステレオ出力接続

図 3

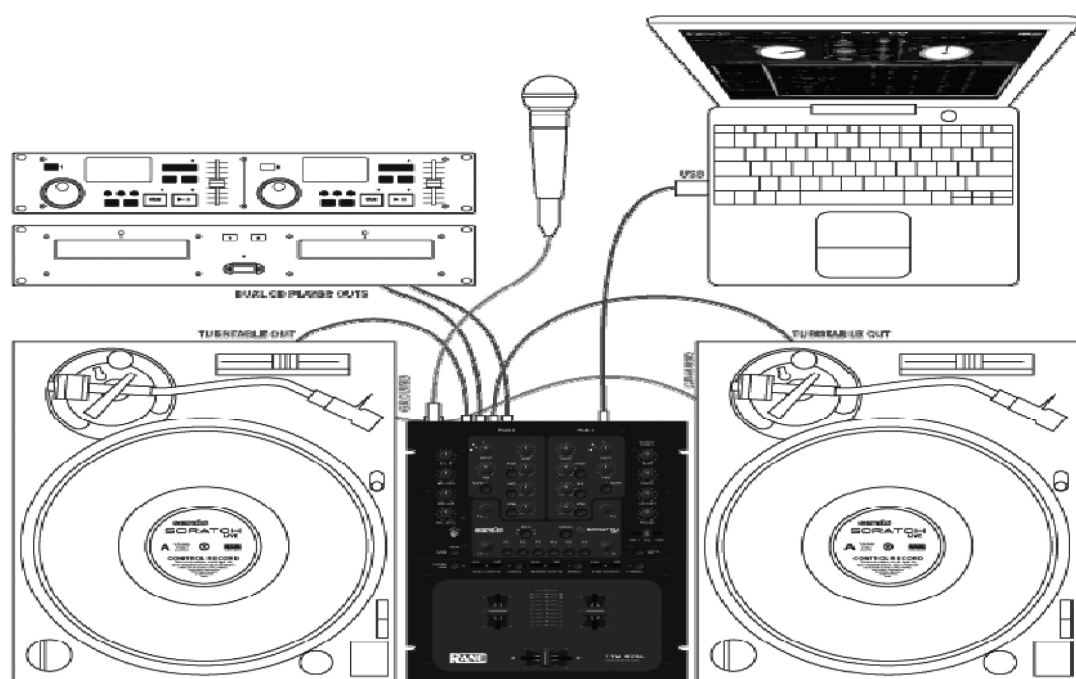


モノラル・ブリッジモード

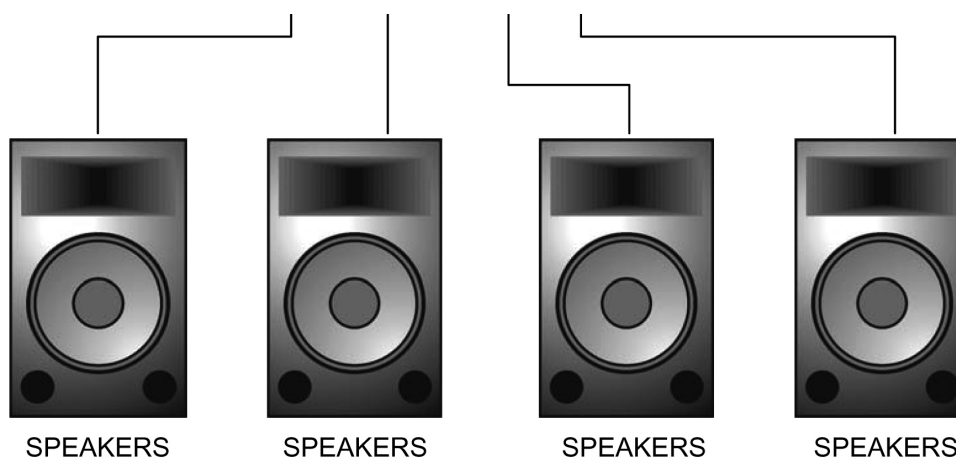
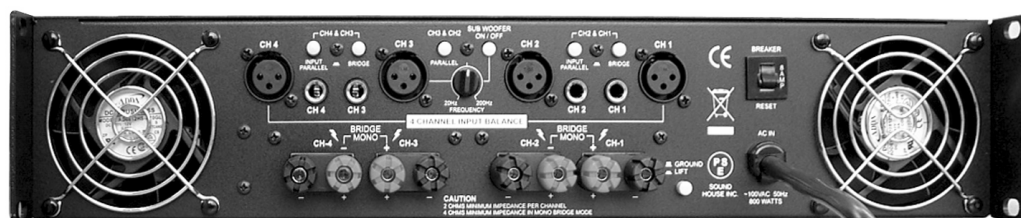
図 4



一般的なセットアップ例



MIXER



保護機能

1. スイッチ ON ミュート機能

スイッチ ON 後、数秒の間アンプの出力がミュートされます。

2. ショート回路保護機能

出力ショート回路保護機能は接続した機材をショートや過大な負荷から守ります。

3. オーバーヒート保護機能

変速ファンによって冷却され、適度な温度が保たれます。しかし、放熱板の温度が 90 度以上になると、アンプが冷却するまで出力がミュートされます。

4. DC サーキット保護機能

DC 漏れや過度のサブソニックエネルギーが検出されると出力がミュートします。

製品スペック

	CP4100	CP4200
入力端子	XLR/フォン	XLR/フォン
出力端子	5WAY バインディングポスト	5WAY バインディングポスト
入力インピーダンス	10k Ω (バランス)	10k Ω (バランス)
入力感度	1V RMS (0dBv)	1V RMS (0dBv)
出力パワー ステレオモード 2 Ω 、1kHz 1% THD 4 Ω 、1kHz 1% THD 8 Ω 、1kHz 1% THD モノラル・ブリッジモード 4 Ω 、1kHz 1% THD 8 Ω 、1kHz 1% THD	各チャンネル 280W (RMS) 各チャンネル 170W (RMS) 各チャンネル 100W (RMS) 560W (RMS) 340W (RMS)	各チャンネル 510W (RMS) 各チャンネル 320W (RMS) 各チャンネル 200W (RMS) 1200W (RMS) 600W (RMS)
周波数特性	20Hz～20kHz、 ± 0.5 dB	20Hz～20kHz、 ± 0.5 dB
SN 比	>100dB 以下	>100dB 以下
THD 20Hz～20kHz 出力 8 Ω 時	0.1%以下	0.1%以下
ダンピングファクター 内部 f=1kHz 時	>250	>250
消費電力 出力 8 Ω 時	350W (100V/50Hz)	700W (100V/50Hz)
冷却機構	2 スピードファン、放熱板	2 スピードファン、放熱板
寸法	483 (w) $\times$ 88 (h) $\times$ 450 (d) mm	483 (w) $\times$ 88 (h) $\times$ 450 (d) mm
重量	15kg	18.5kg

保証書

ご使用中に万一故障した場合、本保証書に記載された保証規定により無償修理申し上げます。

お買い上げ日より 1 年間有効

■保証規定

保証期間内（ご購入より1年間）において、取扱説明書・本体ラベルなどの注意書に基づき正常な使用方法で万一発生した故障については、無料で修理致します。保証期間内かどうかは、サウンドハウスからのご購入履歴により確認を行います。

但し、保証期間内でも、下記のいずれかに該当する場合は、本保証規定の対象外として、有償の修理と致します。

1. お取扱方法が不適当（例：過大入力によるウーハー焼けなどの故障等）なために生じた故障の場合
2. サウンドハウス及びサウンドハウス指定のメーカーや代理店が提供するサービス店以外で修理された場合
3. 製品に対して何らかの改造が加えられた場合
4. 天災（火災、塩害、ガス害、地震、落雷、及び風水害等）による故障及び損傷の場合
5. 製品に何らかの理由で異物が付着、もしくは流入したことによる故障及び損傷とみなされた場合
6. 落下など、外部から衝撃を受けたことにより故障及び損傷がおきたとみなされた場合
7. 異常電圧や指定外仕様の電源を使用したことによる故障及び損傷とみなされた場合（例：発電機などの使用による異常電圧変動）
8. 消耗部品（電池、電球、ヒューズ、真空管、ベルト各種パーツ等）の交換が必要な場合
9. 通常のメンテナンスが必要とみなされた場合（例：スモークマシン等の目詰まり、内部清掃、ケーブル交換等）
10. お客様自身で行った調整や修理作業が原因で生じた破損事故や故障
11. その他、メーカーの判断により保証外とみなされた場合

●運送費用

通常、修理品の持込等に要する費用は全てお客様のご負担となります。但し、事前に確認のとれた初期不良ならびに保証範囲内での修理の場合は、佐川急便に限り着払いを受け付けます（下記RA番号が必要です）。沖縄などの離島の場合は、着払いでの受付は行っておりません。送料はお客様のご負担にて、どこかの運送会社からでも結構ですので発送願います。

●RA番号（返品承認番号）

初期不良または保証内の修理における着払いでの運送については、サポート担当より通知されるRA番号が必要です。ご返送される場合は、必ずRA番号を送り状シールに明記してください。RA番号が無いものについては、佐川急便以外の運送会社での着払いは一切お受けできませんのでご了承ください（お客様のご負担の場合はどの便でも結構です）。

●注意事項

サウンドハウス保証は日本国内のみに有効です。また、いかなる場合においても商品の仕様、及び故障から生じる損害（周辺機器の損害、事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失、又はその他の金銭的損害）に関してサウンドハウスは一切の責任を負いません。

